

## PRESS RELEASE

2026 年 10 月 5 日

株式会社インターネットイニシアティブ

### **IIJ、島根県松江市と災害時の電力供給に関する協定を締結**

-- 脱炭素先行地域の取り組みで導入したIIJ松江データセンターパークの蓄電池を  
災害時の地域への電力供給に活用 --

当社は、島根県松江市と「災害時における電力供給等に関する協定」を、本日付けで締結いたしました。本協定に基づき、当社は IIJ 松江データセンターパーク(以下、松江 DCP)に設置した大容量リチウムイオン蓄電池および EV 充電器を活用し、災害時に避難所となる市内の公民館へ電力を供給します。これにより、地域の防災力・レジリエンス向上を推進します。

#### ■協定締結の経緯

松江市は、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて先進的に取り組む自治体として、環境省の「脱炭素先行地域」に選定されています。当社はこの計画に共同提案者として参画し、補助金を活用して松江 DCP への大容量リチウムイオン蓄電池および EV 充電器の導入を進めてきました。

本協定は、脱炭素先行地域の取り組みの一環として、災害時に松江市と連携して地域への電力供給を実施するための基本的な枠組みを定めるものです。導入された蓄電池は、データセンター設備のバックアップ電源として運用するとともに、災害など有事の際には地域の避難所への電力供給に活用します。

#### ■避難所への電力供給の概要

本協定に基づき、災害時には松江 DCP の蓄電池に蓄えた電力を急速充電器で電気自動車(EV)に充電し、EV を避難所となる市内 2 ヶ所の公民館へ移動し給電します。松江 DCP で松江市向けに確保する電力量は約 1,000kWh で、公民館を避難所として利用した場合の約 2 日分の想定使用電力量に相当します。

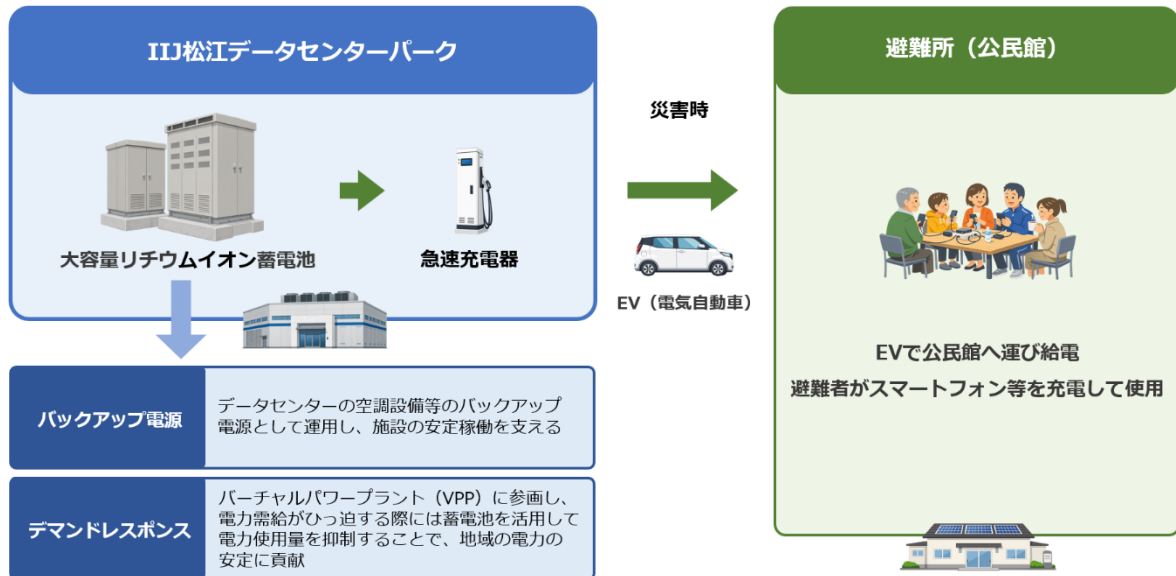


大容量リチウムイオン蓄電池



EV 充電器

## ■蓄電池を活用した地域への電力供給イメージ



IIJ は今後、松江市とともに、災害時を想定した給電運用手順を確認するなど防災訓練を実施する予定です。また、平常時も蓄電池を活用し、地域の電力需要の逼迫時には電力使用の抑制要請に対応するなど、需給調整を通じて地域の電力供給の安定化を推進します。こうした取り組みを通じて、電力と通信インフラの一体的な整備を目指す「ワット・ビット連携」の考え方に沿って地方自治体とデータセンターの連携モデルの構築に取り組んでまいります（※1）。

（※1）データセンターの整備方針は、総務省・経済産業省の「デジタル田園都市国家インフラ整備計画(改訂版)」や「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合 中間とりまとめ 3.0」、その後継となる「ワット・ビット連携官民懇談会 取りまとめ 1.0」等で示されており、地方への分散立地の促進や、電力・通信インフラの一体的整備、再生可能エネルギーの効率的活用等の方針が掲げられている。

### 報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 中島、荒井

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp)

URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。